

業界のタイムリーな情報をお手元に

ビルメン FUKUOKA

4 Issue ● 364



2023年度(第29回)都市ビル環境の日
第16回「子ども絵画コンクール」優秀賞
『タコロボットのおそうじ』
中西穂之佳さん
(曾根小学校1年)の作品

編集・発行／公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 TEL. (092) 481-0431 FAX. (092) 481-0432 <http://www.fukuoka-bma.jp>



表紙の写真

福岡城・鴻臚館跡の桜

Photographer: とみちゃん

2024

ビルメン FUKUOKA ①

会員に関する各種変更のお知らせ

株式会社 ツインズ

■変更事項 ①電話番号②FAX番号

■変更日 令和6年3月1日

【新】①092-983-5859 ②092-983-5860

【旧】①080-3967-5708 ②092-515-2092

三幸株式会社 九州支店

■変更事項 退会

■変更日 令和6年3月31日

賛助会員に関する各種変更のお知らせ



大一産業株式会社 九州支店

■変更事項 ①代表者②協会担当者
③メールアドレス

■変更日 令和6年3月16日

【新】①②九州・中国ブロック
クリーン事業部部长 兼
九州・広島支店長
外園 一利
③hokazono@daiichisangyo.co.jp

【旧】①②支店長 染矢 猛
③someya@daiichisangyo.co.jp



講習会のお知らせ

2024年度 エコチューニング 第一種技術者資格講習(オンライン講習)

第一種エコチューニング技術者は、建築物のエネルギーを効率よく運転するための計画を策定し、第二種技術者等に実践指導を行うことができる技術者です。エコチューニング事業者認定を受けるための必須資格となっています。

<申込受付期間>

令和6年3月18日(月)～5月15日(水)17:00まで

<オンライン受講期間>

令和6年6月6日(木)～7月11日(木)

*詳細につきましては、エコチューニング推進センターのホームページにてご確認ください。

<https://eco-tuning.j-bma.or.jp>

4月 行事予定

8月	14:00～ 総務委員会	於：県協会会議室
18日	14:00～ 教育研修委員会	於：県協会会議室
25日	13:30～ 第161回理事会	於：県協会会議室

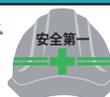
お忘れなく 毎月10日は「災害発生報告書」提出締切日です。
毎週金曜日は知事登録業務相談窓口開設日です。
(申し込みは、該当週の水曜日まで)

<令和5年度1月分>労働災害発生状況

※()内は前年同月の状況

Report

労働福祉委員会調査



■事故の型別

区分	墜落 転落	転倒	激突	飛来 落下	倒壊	激突され	挟まれ 巻き込まれ	合計
人	5(4)	13(12)	(1)			(1)	(1)	
区分	切れ こすれ	有害物質	感電	交通事故	動作の 反動等	針刺し	その他	合計
人				4(7)	(1)	1	(4)	23(31)

■年齢階級別死傷者数

区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
人			1(1)	(3)	1(3)	3(3)	18(21)	23(31)

■休業日数

区分	休業なし	3日以内	4日以上	15日以上	31日以上	91日以上	死亡	合計
人	6(11)	1(2)	4(3)	3(5)	7(9)	2(1)		23(31)

令和5年度
安全標語優秀作品
佳作

恐いのは 自信と過信と 慣れ作業

株式会社 西日本ビル代行 田中 結加里

令和6年度業務改善助成金の一部変更のお知らせ

業務改善助成金は事業場内で最も低い賃金(事業場内最低賃金)を30円以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資等を行った場合に、その設備投資にかかった費用の一部を助成する制度です。令和6年度も引き続き助成金の受付を実施しますが、**一部変更しました**ので、ご注意ください。

変更点

1. 特例事業者要件	新型コロナウイルスの影響を受けた事業者向けの「生産量要件」が 終了 (賃金要件と物価高騰等要件は引き続き継続)
2. 経費の特例	「生産量要件」又は「物価高騰等要件」の事業者に認められていた「 関連する経費 」が 終了 (車・PCなどの導入は引き続き実施)
3. 申請回数	令和6年度中に可能な申請回数は 1回まで ※
4. 賃金引き上げ方法	事業場内最低賃金の引き上げは1回のみ(複数回の引き上げは助成対象外)
5. 申請期限	令和6年12月27日まで
6. 事業完了期限	令和7年1月31日まで

※令和6年3月31日までに申請いただき、令和6年4月1日以降に交付決定を受けた事業者は、令和5年度に申請されたものとして扱われますので、令和6年度も申請可能です。

特例事業者に関する注意点

令和6年度における特例事業者の要件と対象経費は、以下のとおりです。

	令和5年度	令和6年度
賃金要件	引き続き実施	引き続き実施
生産量要件	引き続き実施	令和5年度限り
物価高騰等要件	引き続き実施	引き続き実施
車・PCなど 経費の特例 関連する経費	引き続き実施	引き続き実施
	引き続き実施	令和5年度限り

(参考) 令和6年度の特例事業者は、以下の①②のどちらかの要件にあてはまる中小企業事業者となります。

①賃金要件	申請事業場の事業場内最低賃金が950円未満である事業者
②物価高騰等要件	原材料費の高騰など社会的・経済的環境の変化等の外的要因により、申請前3か月間のうち、任意の1か月の利益率が前年同月比に比べ3%ポイント以上※低下している事業者 ※「%ポイント(パーセントポイント)」とは、パーセントで表された2つの数値の差を表す単位です。

また、変更後の特例事業者に該当する場合、以下の特例措置を受けることができます。

		一般事業者	特例事業者	
			①賃金要件	②物価高騰等要件
引き上げ人数関係	引き上げ人数10人以上の区分の利用	×	○	○
助成対象経費関係	生産性向上に資する設備投資等	○	○	○
	生産性向上に資する設備投資等のうち	×	×	○
	・定員7人以上または車両本体価格200万円以下の乗用自動車や貨物自動車 ・PC、スマホ、タブレット等の端末と周辺機器の新規導入			

福岡県協会主催各種講習会実施予定表

主管	講習会名	月												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
教育研修	1. 貯水槽清掃作業従事者研修			●	久留米() / 北九州() / 福岡()									
	2. 防除作業従事者研修				北九州() / 福岡() / 久留米()								●	
	3. 清掃作業従事者研修(基礎コースI・II)	北九州: 3日(水) 福岡: 23日(火)		●			●	久留米() 飯塚()		福岡()		●		
	4. 新規・再講習共 清掃作業従事者研修指導者講習会							福岡()		●				
	5. 空調給排水管理従事者研修指導者講習会							福岡()		●				
	6. ビルクリーニング技能検定直前講習会						福岡: 15日(水) ~ 17日(金)					●		
労働福祉	7. 高所作業安全教育講習会						福岡()		●					

福岡県協会主催行事予定表

主管	行事名	月												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
総務	定時社員総会		17 (金)											
教育研修	第18回福岡県ビルクリーニング技能競技大会(未定)													
	第18回九州地区ビルクリーニング技能競技大会(未定)													
	第46回アビリンピック福岡2024				13 (土)									
労働福祉	労働安全衛生大会						○							
	安全パトロール												○	○
調査広報	BM杯ゴルフコンペ			18 (火)					○					
	BM杯ボウリング大会							○						
	懇親旅行									○				
都市ビル	「都市ビル環境の日」クリーンアップ福岡									4 (金)				
	「都市ビル環境の日」シンポジウム									4 (金)				

「安全性と作業効率向上の為のコードレス機材の勉強会」を開催



令和6年2月19日(月)、当協会の環境管理部会主催による「安全性と作業効率向上の為のコードレス機材の勉強会」が福岡県自治会館において、27社52名が参加して開催されました。今回は、令和5年1月に実施しました「コードレス機材に関する勉強会」の第2弾として開催しました。

現在、ビルメンテナンス業界全体が抱える問題として、「高齢化」「人員不足」「技能不足」に伴う「作業効率の低下」が顕著であり、それぞれの解消は急務となっております。そのような課題に対して、大都市圏ではコードレス機材の導入による対応が進んでいますが、地方では進んでいないのが現状です。また、コードレス機材を使用することによって安全性と作業効率を向上させ、ビルオーナーやテナント側との電源トラブル回避にも繋げています。

今回も前回と同じく賛助会員の方にご協力をいただき、5社のプレゼンテーションによる勉強会を開催いたしました。プレゼンテーションの内容は、

①山崎産業株式会社より「巡回作業を効率化させるDX化の実現」



▲倉重会長の挨拶

- ②株式会社リンレイより「コードレスマシンの作業効率を上げる、次世代メンテナンス手法」
- ③シーバイエス株式会社より「長寿命・高速充電の大容量新型 Li-ion バッテリー」
- ④ペンギンワックス株式会社より「深刻な人手不足に対応する! Li-ion コードレスマシンのご提案」
- ⑤テルウェル西日本株式会社より「清掃ロボットを活用したスマートビルメンテナンス」
というテーマで行われました。

当日は、各メーカーが会場にコードレス機材を持ち込みましたので、参加者は実機に触れることができ性能を体験することができました。前回は実機に触れる時間が短かったですが、今回は体験できる時間も十分あり、一度に複数のメーカーの機材を見ることができたと好評を得ました。

最後の質疑応答では、参加者から多くの質問を受け付けました。また、終了後に提出されたアンケートの回答内容から見ても、人員不足・高齢化への対処や作業効率化・技術力の向上に対する関心の高さを改めて知ることができました。

勉強会に参加された皆様、勉強会にご協力いただいた賛助会員およびメーカーの方、どうもありがとうございました。



▲プレゼンテーションをしていただいた方々



閉会の挨拶をする西村部会長

勉強会の模様



構え！ビルメン防疫[消毒]隊(10)

地域防災ネットワーク部会長 金子 誠

事業登録1号(清掃)+8号(総合)×7号(防除)業務体制整備で

⇒ **“必要不可欠業務”**(社会機能維持事業者)の
社会的認知を向上させよう!

新型コロナ禍にあってビルメンメンテナンス事業者：従事者は、その“使命”を粉骨砕身で果たしたことです。今回の新型コロナパンデミックの予兆は、既に20年前に起こっていました……SARS(サーズ)発生、そして10年前にはMERS(マーズ)。その時々には私たちビルメン防疫隊は、公共機関(空港・海港・鉄道)の“水際作戦”に従軍しました。これらの感染源は、各々ハクビシン・ヒトコブラクダ・コウモリと検証されています。いま我が国では、鳥インフルエンザの拡大、アフリカ豚熱の上陸危機など、家畜伝染病の脅威が広がっています。また、いつ地球的パンデミックを引き起こす新種の感染症が襲来するか分かりません。その時、ビルメン防疫隊は敢然と最前線に立つ覚悟を持ちたいものです。

⇒協会では、新たに『**感染制御衛生管理士：ICCC**』という専門対策員を養成。

⇒コロナ禍の最中に、九州建築物環境センター(QEC)ではPCO協会の全面的協力を得て、「特別防疫対策研修会(※実技あり)」を全九州会員に向けて実施。

⇒県畜産課へ害獣駆除専門業者でもある正会員を伴って訪問(3月1日)～衛生管理業の本分である『予防管理』の実効性について説明提案。

大地震災害の記憶から(4)

東日本大震災の轍 その2～復旧から復興への道程～

“秒速5 cm の甦生リレー” 三陸沿岸道を何度となく往復する中で気付いたこと……小さな入江の漁村はことごとく壊滅状態なのですが、集落への入り口には小高い丘があって、そこには道祖神が祀ってあり無傷で残っていることです。このことは先祖の村人が過去の大津波の最高到達点に“守り神”を鎮座させたことを意味します。

先月号で触れた陸前高田市の風光明媚な高田松原7万本は、“奇跡の一本松”を残して一瞬にして「日本百景」から姿を消しました。青年部有志とこの地を再訪した時も、海岸沿いの公営集合住宅(5階建て)は何の片付けもされず放置されたままの状態でした……高さ15メートル以上の津波は最上階だけを残し4階までの部屋を貫通しました。この住宅の裏側に、この高さまでかさ上げされた更地が造成中でした。この陸前高田の津波到達点を起点として三陸沿岸170kmに渡り、その到達点を結んだ線上に桜の苗木の植樹が進められています……『桜ライン311』プロジェクトです。

その標榜するものは、「1年後も100年先も大切な人とずっと」という地元民の想いです……これは“心の防潮堤”の復興に他なりません。

……無常の桜の花びらは、1秒間に5センチメートルの落下速度で大地に散り行くそうです……

(13年目の3.11追悼日に記す)

< プロローグ >

編 著：(株)セイビ九州
マンガ：松本康史

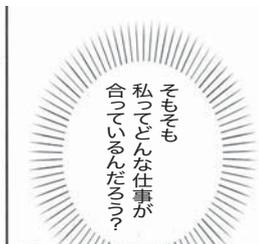
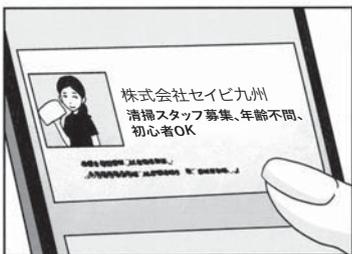
今月から新シリーズ スタート!

今月号より連載第3弾として、あらゆる建物の衛生的な環境を維持するための

主要業務のひとつである「ビル清掃」を取り上げます。クリーンクルーとして「私たちにできることは何か?」「役に立つことは何か?」から考え、行動するクルーの活躍を紹介します。

主役の水口亜矢という女性は、清掃という仕事が好きで、仕事に自信と誇りをもって毎日の仕事をこなしています。当然、不安もあれば悩みもあります。本シリーズでは上司や仲間たちとの交流をとおして確実に成長していく姿を描きます。

私たちが関わっている清掃という仕事は、「確実に世の中の多くの人々の役に立っている」ということを心に刻み、業界の皆さんには自信と誇りをもっていただきたいと思います。



2 3



▶ 次回は「新人研修」を掲載します。